



たかいわ

議会だより

令和4年

5/1

第171号

ウクライナ人道危機 救 援 金

※ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの
避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における
救援活動を支援するため、救援金を募集しています。
ご協力よろしくお願いします。

日赤太宰府市地区



5月16日は「平和に共存する国際デー」です

6月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
6/5	6	7	8	9	10	11
				本会議 市長提案理由説明		
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 質疑・委員会付託		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会	
19	20	21	22	23	24	25
		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)		
26	27	28	29	30	7/1	2
	本会議 委員長報告・質疑 討論・採決					

議会の傍聴について

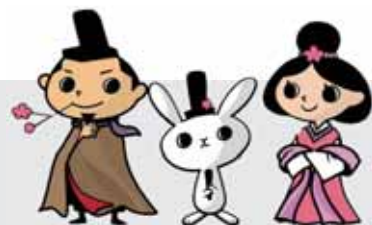
議会傍聴の際の感染症対策を実施しています。マスクを必ず着用してください。

本会議場の傍聴人数は通常は51名ですが、状況により傍聴人数の設定を変更することがあります。詳しくは議会事務局までご確認ください。

予算特別委員会報告	42P
1月臨時会リポート	44P
3月定例会リポート	44P
審議結果一覧表	46P
会派代表質問	47P
個人質問	51P

新年度予算を総チェック

令和4年度の予算審議の中で、議会の関心が高かった内容をピックアップしました！



質問:一般会計の予算総額が過去最大規模の290億円になったことについて？

回答:水城小学校改築等の投資的経費の増加、扶助費の増加および新型コロナのワクチン接種関連費用が全体予算額を押し上げました。

質問:総合計画審議会による第5次総合計画の検証状況について？

回答:庁内で委員会を立ち上げ総括を行っているところです。
第6次総合計画を策定するかについてはまだ判断をしていません。



質問:市の重点施策については、総合戦略推進委員会(まちづくりビジョン会議)の

19人のメンバーが中心となって作り上げていくということか？

回答:市の重点施策については、同委員会に意見を伺いながら進めたいと考えます。

質問:待機児童数の見込みについて？

回答:新しい小規模保育園ができる令和4年度は42名、さらに120人規模の保育園ができる令和5年度には待機児童を解消したいと考えています。

質問:市内一斉避難訓練経費(100万円)の内容について？

回答:自治会、自主防災組織および関係諸機関に協力を依頼し、ハザードマップを活用して市民が避難所や避難経路を確認する訓練を中心に考えています。



質問:女性相談業務委託料(594万円)の内容について？

回答:DVをはじめとする女性に関する相談件数が年々増加しており、専門の相談員が相談を受ける体制を整えます。

質問:史跡水辺公園(市民プール)の施設改修工事(1,700万円)に関連して、
今後の施設改修の計画について？

回答:令和4年度に庁内プロジェクトチームを立ち上げ、スポーツ施設に限らずその他の公共施設の再編についても検討を進め、抜本的な行財政改革プランの策定に取り組みます。



史跡水辺公園屋内プール

質問:証明書を発行する「にしのまどぐち」の実施状況について？

回答:地域包括支援サプセンターで月2回(第2・第4日曜日の午前中)開設しています。
1日当たりの利用件数は19.4件、発行枚数は27.2枚です。

令和4年度の一般会計予算は過去最大となる 290億3,684万円

令和4年度予算特別委員会が2月25日、3月15日、16日に開催され、下記の各会計について審査を行い、3月22日の本会議において、多数の賛成をもって原案のとおり可決されました。

会計区分	本年度の予算	前年度の予算	比較
一般会計	290億3,684万円	255億3,377万円	35億 307万円 増額
4特別会計	146億3,819万円	144億 647万円	2億3,172万円 増額
2企業会計	52億6,353万円	42億3,664万円	10億2,689万円 増額
総計	489億3,856万円	441億7,688万円	47億6,168万円 増額

4特別会計:国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計

2企業会計:水道事業会計、下水道事業会計

ココに注目！

●中学校完全給食の実現に向けた取組がいよいよ始まります！

令和3年度は公共施設整備基金に中学校完全給食実施のための備えとしても5億円を積み立てました。そして令和4年度は、中学校給食のできるだけ早い実施に向けた取り組みとして、学校給食改善研究委員会の費用(46万円)が予算計上されました。いよいよ中学校完全給食の実現に向けての具体的な議論が始まるのか注目です。



質問:学校給食改善研究委員会の委員構成について？

回答:規則上、識者、調理員、栄養士、教員、保護者など10名以内の委員で構成されます。

質問:委員会の活動はすぐに始まるのか？

回答:いつ開始するか具体的な時期はまだ決まっていません。
できるだけ早い時期に実施したいと考えています。
※4月6日に第1回委員会が開催されました。

質問:令和4年度中に委員会でどのようなことが決定されるのか？

回答:まだ委員会が立ち上がっていない状況なので、委員皆様にお諮りしてその議論の中で決定するものと考えています。

意見:学校給食改善研究委員会に課せられたミッションをしっかりと提示し、この委員会でどこまで結論を出すのかを明確にして議論を進めていただきたい。



○条例改正

◆子育て支援センターに新たな機能を追加します。

⇒児童福祉法等の一部改正に伴い、妊娠期から子どもの社会的自立に至るまでの包括的・継続的な支援をする機能として、子ども家庭総合支援拠点が子育て支援センターに追加されます。
《議案第11号》



子育て支援センター

◆国民健康保険の負担軽減措置が行われます。

⇒全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部改正に伴い未就学児の被保険者均等割額の減額に係る項が追加されたことによる条文の追加と、これに伴う規定の整理、地方税法の規定の明確化を行いました。《議案第15号》

○令和3年度一般会計補正予算(第9号)

◆予算総額は歳入・歳出ともに321億394万円になりました。主な歳出は以下の通りです。

費目	補正予算額	主な事業と予算額
戸籍住民基本台帳費 (戸籍住民基本台帳費)	458万7千円	社会保障・税番号制度システム委託料 458万7千円
障がい者自立支援費 (社会福祉費)	4,600万円	障がい者自立支援給付事業費及び 障がい児通所支援給付関係費 4,600万円
事務局費 (教育総務費)	1,755万円	学校教育運営費 消毒やマスクなど 1,755万円
施設管理運営費 (保健体育費)	500万円	史跡水辺公園・総合体育館指定管理料 500万円

○令和4年度一般会計予算

◆新年度予算の審査内容については、42P・43Pをご覧ください。
なお、詳細な内容は、後日公開する議事録をご確認ください。

○令和4年度一般会計補正予算(第1号)(第2号)

◆予算総額は歳入・歳出ともに285億4,635万6千円になりました。主な歳出は以下の通りです。

費目	補正予算額	主な事業と予算額
道路橋梁新設改良費(道路橋梁費)	980万円	生活道路改良費 980万円
財産管理費(総務管理費)	2,000万円	公共施設整備基金積立金 2千万円
教育保育施設費(児童福祉費)	5,097万1千円	保育園、教育保育施設費 委託料など 5,097万1千円
社会福祉総務費(社会福祉費)	330万円	生活困窮者自立支援関係費 330万円
家庭児童対策費(児童福祉費)	1,284万3千円	子育て支援センター事業費 1,284万3千円
保健予防費(保健衛生費)	300万円	带状疱疹予防接種費用助成金 300万円

1月 臨時会レポート

○令和4年1月臨時会(令和4年1月11日 1日間)

○人 事

◆市監査委員に森田正嗣氏を選任する事に同意しました。
《議案第1号》

○専決処分の承認

◆令和3年度一般会計予算に、12億9,079万1千円を増額補正しました。
⇒令和4年春に向けて給付予定であった子育て世帯への臨時交付金の追加給付を年内に一括給付を開始すべく、令和3年12月7日及び15日で専決処分した件について承認しました。
《専決第2号、専決第3号》

3月 定例会レポート

○令和4年3月定例会(令和4年2月25日～令和4年3月22日 26日間)

○人 事

◆人権擁護委員に松下俊彦氏 及び 白水勇夫氏を適任と認めました。
《諮問第1号、諮問第2号》
◆固定資産評価審査委員に藤田修司氏を選任する事に同意しました。
《議案第5号》



○市道路線の認定

◆石坂1丁目3201番1を起点、石坂1丁目3204番9を終点とする路線を【秋山・雀田線】と認定しました。

※市道路線の認定とは
宅地開発などにより新たに作られた道路を、市の基準に基づいて市道として認定するものです。



認定道路

1月臨時会全会一致で可決した議案

議案番号等	案 件 名	議決結果
議案第1号	太宰府市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度太宰府市一般会計補正予算(専決第2号))	承認
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度太宰府市一般会計補正予算(専決第3号))	承認
議案第4号	令和3年度太宰府市一般会計補正予算(第8号)について	原案可決

3月定例会全会一致で可決した議案

議案番号等	案 件 名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第5号	太宰府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第6号	財産の取得(史跡地)について	可決
議案第7号	市道路線の認定について	可決
議案第8号	太宰府市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	太宰府市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	太宰府市子育て支援センター条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	太宰府市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	太宰府市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第14号	太宰府市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第16号	太宰府市モーター類似施設建築規制条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第17号	令和3年度太宰府市一般会計補正予算(第9号)について	原案可決
議案第18号	令和3年度太宰府市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第19号	令和3年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第21号	令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
議案第22号	令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第23号	令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について	原案可決
議案第24号	令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
議案第25号	令和4年度太宰府市水道事業会計予算について	原案可決
議案第26号	令和4年度太宰府市下水道事業会計予算について	原案可決
議案第27号	令和4年度太宰府市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第28号	令和3年度太宰府市一般会計補正予算(第10号)について	原案可決
議案第29号	令和4年度太宰府市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
意見書第1号	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	原案可決
決議第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	原案可決
決議第2号	ワンヘルスの推進に関する決議	原案可決

3月定例会 賛否の分かれた議案

議案番号等	案 件 名	議決結果	(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)											
			公明党	宰光	新風	市民の声	未来のまち	令和宰光	無党派	タノスキッド	タノスキッド	タノスキッド	タノスキッド	タノスキッド
議案第9号	太宰府市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和4年度太宰府市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	太宰府市議会と太宰府市民との意見交換会の開催に関する請願書	不採択	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※門田直樹議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。
※以下の党派名について、一部省略して記載しています。 市民の声:太宰府市民の声 無党派:党派に所属していない議員



どうなっとうと？ 一般質問

会派を代表して問う 代表質問

代表質問 質問項目一覧表

会派 質問議員名	施政方針の該当箇所 (◎＝掲載項目 ○＝その他の質問項目)	掲載面
未来のまち 木村 彰人	◎国・県・国内外自治体との連携の推進 ○冒頭フレーズ ○【成長戦略】構想 ○戦略的まちづくりの推進 ○中学校完全給食実現に向けた取組	47ページ
公明党 小畠 真由美	◎【行財政改革戦略】構想 ○【移住定住戦略】構想 ○保育所へのICT導入推進	48ページ
新風 船越 隆之	◎全世代交流型施設の検討 ○中心市街地の活性化検討	
宰光 入江 寿	◎地場みやげ産業の創出 ○小・中学校大型提示装置整備 ○安心安全のまちづくり街路灯整備工事 ○交通体系の構築検討 ○地球温暖化対策の推進	49ページ
太宰府市民の声 橋本 健	◎中学校完全給食実現に向けた取組 ○高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の拡充 ○市制施行40周年記念式典 ○諸団体の強化、再編、補助金等改革	
令和宰光 宮原 伸一	◎安心安全のまちづくり道路改良工事 ○企業誘致、起業・創業支援の推進 ○保育所施設整備の推進 ○交通体系の構築検討 ○地球温暖化対策の推進	50ページ

問

近隣自治体との連携をすすめよ

国、県、内外自治体との連携について、すぐにでも取り組むべきこととして3点伺う。

①福岡県保健環境研究所の移転に、太宰府市はどう対応するのか。

②西鉄天神大牟田線の連続立体交差事業について。

③筑紫野市、大野城市との将来を展望した連携方針について。

A

市長

①同研究所は総合体育館の隣に位置し、本市のまちづくりにおいても重要な立地となっています。福岡県と緊密な連携を図り、対応していきます。

②市内の交通体系を、自動車、自転車、歩行者などの視点から見直し、総合的な交通体系の具体案提示に向けて検討を行います。その中で連続



木村 彰人 議員

未来のまち



録画映像はこちら

答

立地化事業について再検討していくこととしています。

③日本遺産「古代日本の西の都」が周辺6市町を加えた形で変更認定を受けており、取り組みを始めています。隣接自治体とウィンウィンの関係を築き、1300年の時空を超えた太宰府的な観点から、来訪者の回遊促進交通環境の向上に積極的に、つなげます。





公明党

おばた まゆみ
小畠 真由美 議員



録画映像はこちら

問

持続可能な太宰府構想の戦略は

Q

行財政改革のさらなる断行について2点伺う。

①市民生活の利便性向上と行政事務の効率化を図るため、RPAや人工知能AIを活用したA-I-OCRについて、本市としての導入見解。

②戦略的機構改革の必要性を感じるが、内部の改革こそプロジェクトチームをつくり、組織基盤の強化を図っていくべきだと考える。持続可能な財政運営について現状と課題。

A

市長 ①RPA、A-I-OCRにつきましては、本市としましてもその有効性を認識していま

す。令和3年度RPAの実証実験を行い、効果的、効率的な行政運営において有効な業務ツールの一つであると再認識しました。自治体DX推



※1 RPA=決まった手順の定型業務や繰り返し行う事務作業を自動化する技術
※2 AI-OCR=紙文書を読み込み、書かれている文字を認識してデジタル化する技術

Q

今後のいきいき情報センターの活用と整備について2点伺う。

①いきいき情報センターの施設整備についての協議経緯とこれからの市長任期4年間での方向性について。

②現在の契約店舗は、JA太宰府中央支店が2年、コンサルタント会社が4年、新たに飲食店が5年という賃貸状況であるが、他の空き店舗に関して今後契約予定があるのか。

A

市長 ①様々な要因で平成31年4月末に1階部分が空きス

ペースとなった事を受け、庁内で横断的な検討を行い令和2年4月から6月にかけてサウンディング型調査を実施し、サテライトオフィス支援事業補助金の活用と入居者募集を行いました。これからは、あらゆる世代がつながる交流拠点としての活用を計画しているところです。

②コロナの状況を見据えながら、中心市街地活性化の検討と併せて、中長

期的な視点で、公共施設の再編や周辺も含めた、全面的な施設整備の可能性も踏まえ建設の在り方について検討します。



新風

ふなこし たかゆき
舩越 隆之 議員



録画映像はこちら

問

いきいき情報センター活用の今後が見えない



宰光

いりえ ひさし
入江 寿 議員



録画映像はこちら

問

太宰府梅園構想、特に農家等への補助は

Q

令和4年度施政方針第1の戦略「太宰府の底力総発揮構想」の地場土産産業の創出に關し、市長は色々な機会に地場土産産業の推進を述べられている。そこで、太宰府梅園構想について、特に、梅農家等への補助について概要を伺う。

A

市長 「梅」プロジェクトの手

愛で、収穫し、グルメやスイーツを楽しめる真の梅の町へと本市を導く太宰府梅園構想を進め、税収、経済効果をさらに高めるとともに、梅の生産量も拡大していく方針であり、梅の栽培については、旅人も愛でたであろう令和の梅というストーリー性を重視し、史跡地を中心に、可能な限り拡大していきます。市内農家が梅をはじめとする農産物をJA筑紫のゆめ畑太宰府店に出荷する際の手数料の一部を補助する地産地消推進補助金を令和3年度から実施しています。この取り組みは、「梅」プロジェクトの好循環サイクルの一つに組み込まれています。



太宰府市民の声

はしもと けん
橋本 健 議員



録画映像はこちら

問

中学校完全給食実現のスピードアップを

Q

「中学校に給食がないから太宰府市には住まない」という人は多いと聞く。本年度当初予算では、中学校の完全給食実施に向けて検討を行い早期実現に取り組むとのこと。そのための組織をいつ編成するのか、導入に向けてのスケジュールは作ったのかを伺う。

A

市長 令和4年度予算では

委員報酬と費用弁償を計上しています。中学校完全給食を早期に実現するための方針や提供方式、実施時期等について具体的な議論を行っていただきます。「太宰府市は避ける」との声があるのは非常に残念で、次代を担う中学生の教育環境を充実させるため、学校給食法に基づいた中学校完全給食をできるだけ早く実現できるよう全力を挙げていきたいと考えています。



問 安心安全のまちづくりを着実に進めよ



みやはら しんいち
宮原 伸一 議員



録画映像はこちら

Q 令和4年度に実施予定の道路改良工事3か所に関して、具体的な工事内容について3点伺う。

①都府楼大橋補修工事

②観世音寺土地区画整理事業61号線道路改良工事

③関屋・向佐野線道路改良工事

A 部長 ①橋梁の点検結果に基づき、令和4年度から7年度の4年間で、舗装や橋脚の補修工事を行います。

②交通量の増加に伴い右折車滞留による渋滞が発生していることから、交通の活性化と渋滞の解消を図るため、右折レーンを20mから70mに延伸します。

③県保健環境研究所横の片側歩道区間210mについて、県施設側に歩道を新設するとともに既存歩道部の拡幅を行い、両側歩道を整備することで、特に児童・生徒の安全を確保するものです。



ここが聞きたい 個人質問

個人質問 質問項目一覧表



議員名	全ての質問項目		掲載面
馬場 礼子	地域公共交通の活性化について	オンライン教育の現状について	51ページ
タコスキッド	トランスジェンダーの児童・生徒について	ユニバーサルツーリズムについて	
	ふるさと納税について		
原田 久美子	高齢者のためのベンチの設置について	本市の防災士の状況について	52ページ
徳永 洋介	本市の踏切整備計画について	第5次太宰府市障がい者プランについて	
長谷川 公成	高雄交差点の安全確保と右折矢印信号の設置について	コロナ禍における学習の遅れやオンライン授業について	
神武 綾	農業政策について	多様な育ちの場の提供について	53ページ
堺 剛	将来を見据えた行財政運営の在り方について		
森田 正嗣	高齢者の暮らしに関連する政策について	太宰府市自治基本条例の具体化について	
陶山 良尚	コロナ後を見据えた観光戦略について		54ページ
今泉 義文	コロナ禍での市民支援について	教育環境改善について	
	まほろば令和体操について		
笠利 毅	施政方針をゼロカーボンシティ宣言の立場から問う		

●会議の録画映像の配信を行っています

①インターネット上での視聴・・・市議会ホームページの「定例会・臨時会」からご覧ください。

②二次元コードからアクセス・・・ページに表示している二次元コードから、録画映像にアクセスできます。



問 公共交通の活性化
馬場 礼子 議員

Q 地域公共交通について4点伺う。

①地域公共交通維持の取り組み

②地域公共交通活性化再生法の改正の意義と計画策定の必要性及び進捗状況

③コミュニティバスの広域連携に関して、まほろば号の現状、マイナスイネン原因と要因、収支改善の取り組み

④オンデマンド交通について
議会を開催します。
③運行は現在市内6路線で一日の運行便数は平日138便、土曜日128便、日祝日114便です。路線拡大、運賃値下げにより、毎年1億5千万円の財政負担が生じています。市内プロジェクトチームを立ち上げ、検討を進めます。
④他市の情報を収集し本市における在り方を検討します。

A 部長 ①PR事業や地域線公共交通会議を実施して利用状況の確認、各地域のニーズの把握に努めています。
②平成30年度から策定を進め、令和4年度より地域公共交通活性化協



録画映像はこちら



問 学校のトランスジェンダー対応は進んでいるか
タコスキッド 議員

Q 自分がトランスジェンダーなのは13歳前後のことが多いとされる。学校としての対応指針はあるのか。またトイレ、更衣室、髪型、制服、プール授業時の対応、メンタルサポートについて伺う。

A 理事 児童・生徒は一人ひとり違った個性を持っています。これが学校での教育活動の前提です。平成27年の文部科学省通知「性同一性障がいに係る児童・生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」を基に本市も対応しています。全学校にバリアフリーのトイレが設置

されており自由に使えます。更衣室は申し出があれば対応します。制服は令和3年度より男女を問わずに選択ができるデザインとなっていて、髪型は校則見直しの検討事項としてあります。水泳授業に際しても個に応じた対応をします。メンタルサポートには担任、養護教諭、スクールカウンセラー等があたります。



トランスジェンダープライドフラッグ



録画映像はこちら



問 高齢者等が座って休憩できるベンチを
原田久美子 議員

Q 新型コロナウイルス感染症の第6波は、感染規模が過去最大となる中、コロナに打ち勝つ予防策の一つとして高齢者に優しい施策の観点から2点伺う。

①御笠川沿いを散歩中の高齢者が休憩するためベンチをより充実させることはできないか。

②バスを待っている高齢者からベンチを設置して欲しいとの要望を受けており、他市町の事例もあることから市内のバス停にベンチを設置できないか。

A 部長 ①歩道を利用する高齢者や交通弱者の利便性向上と憩いの空間の創出として有効な手段であ



録画映像はこちら



問 危ない土井踏切・中道踏切

とくなが ようすけ
徳永 洋介 議員

Q 踏切道改良促進法で、太宰府市内では2か所が改良すべき踏切として国から指定を受けたが、土井踏切と中道踏切は指定を受けていない。どちらの踏切も道幅が狭く、離合するのが困難である。

土井、中道両踏切の道路整備計画の現状と方向性について伺う。

A 部長 本市では、踏切の安全性の確保のために、法指定されています踏切道の対策を行ってきました。

土井、中道踏切についてですが、現時点において踏切整備計画はありませんが、過去に地元自治会の要望や議員からも一



録画映像はこちら



問 高雄交差点の安全確保と矢印信号の進捗は

はせがわこうせい
長谷川公成 議員

Q 高雄交差点について2点伺う。

①高雄交差点周辺の民地に建物建設され、歩道幅員、たまり場が狭くなったことで危険性が高まっている。歩行者の安全確保のため、歩道幅やたまり場確保の抜本的な見直しが必要と考えるが、見解は。

②過去の一般質問で高雄交差点の右折信号矢印設置の検討を要望していたが、どのような協議がなされたか。

A 部長 ①高雄交差点は非常に交通量も多く、一時的には歩道が埋まる場合があると認識しています。国道管理者、県道管理



録画映像はこちら



問 農業の担い手のために

こうたけ あや
神武 綾 議員

Q 農業従事者の減少、耕作放棄地の増加が進んでいる。昨年3月議会において地域水田農業推進協議会を、市の附属機関から除外するに当たり、都市近郊農業の振興及び担い手の育成等について活発な議論を展開していくとの説明があった。市としての農業振興及び担い手育成についての現状と具体的な計画について伺う。

部長 本市におきまして、都市化、高齢化等の影響により農家戸数は減少、耕作放棄地を含めた自己保全管理農地は年々増加しています。JA筑紫及び筑紫地区他市と連携し、ちくし農業塾を開催し、技術的支援を実施しています。就農希望者からの農地あっせんに関する相談に對しまして、耕作状況に応じて個別に農家に聞き取りを行い、可能な限りマッチングに努めているところです。



録画映像はこちら



問 持続可能な地域社会の実現を目指せ

さかい としあき
堺 剛 議員

Q 将来を見据えた行財政運営の在り方について、3点伺う。

①市役所内部の経費削減や外郭団体改革等、本市の将来を見据えた行財政運営の見直しについて。

②都市計画の在り方に関して、民間によるマンション建設や宅地開発及び福岡県保健環境研究所の影響について。

③監査事務報告書に対する認識と是正課題について。

A 部長 ①庁内プロジェクトチームを立ち上げ、各種補助金や公共施設再編及び各種利用料金の見直し等に関して、行財政改革プランの策定に取



録画映像はこちら



問 高齢者の暮らし道

もり まさつぐ
森田 正嗣 議員

Q 高齢者の暮らしに関する政策について5件伺う。

①介護施設等のスタッフに対する市のコロナ感染予防策

②食品買入れを助ける取り組み

③外出を助ける対策

④住まいを商店や病院の多い地域に設定していく都市計画

⑤人生百年時代を迎え、身体能力、精神能力の低下を見据えた市の政策

A 部長 ①微酸性電解水の配布、特別支援金の給付、消耗品の支給、PCR検査の支援を行っています。



録画映像はこちら



問 コロナ禍の先を見据えた観光政策を

すだ よしお
陶山 良尚 議員

Q コロナ感染症流行の本市観光への影響は依然として厳しい。そんな今こそ、これまでとは異なる戦略に基づく写真真を描き、コロナ後には直ちに太宰府の底力を発揮できるよう準備をしておきたい。3点伺う。

①市内観光の現状

②令和、コロナをうけて追加変更のあった観光推進基本計画

③将来を見据えた観光都市のあり方

A 課長 ①令和3年度の年間観光客入り込み数は、令和元年度比4割減、令和2年度比では2倍強となっています。若年層



録画映像はこちら





今泉 義文 議員

問 自宅療養者に対する生活物資の支援状況は

新型コロナウイルスの新規感染者数が市内で高止まりしている状況の中、自宅療養者も増えている。家族に感染者が出た場合、その家族は濃厚接触者となり自宅待機の生活を余儀なくされる。市長は、SNSなどで直接要望があった除菌シート、石鹸、マスク、体温計、お粥などを支援されている。今後の自宅療養者に対する生活物資の支援について市長の見解を伺う。

A 市長 以前、職員が感染した経緯などを経験して支援物資を職員がお届けすること、また職員が連絡を取る中で対象となる市民の方

に安心感が生まれると考えました。支援物資は、SNS等を通してダイレクトに市民の皆様から具体的なご要望を頂き新たな物資を加えるようになりまし。支援実績は、令和4年2月末現在で225世帯、253箱です。令和4年度も継続していく考えです。



録画映像はこちら



笠利 毅 議員

問 太宰府市のゼロカーボンシティ宣言

Q 太宰府市は気候非常事態ゼロカーボンシティ宣言を行った。

①行政、市民、事業者にはどの程度覚悟が求められるのか。

②市内の公共施設で再生可能エネルギー設備を備えた施設はいくつあるのか。

③水城小学校の校舎建て替え計画で、ゼロカーボンシティ宣言を意識した設計は予定されているのか。

A 部長 ①行政の取り組みだけでは足りないの

で、市民、事業者にも省エネルギー行動を積極的に進め、再生可能エネルギー



録画映像はこちら

◇編集後記◇

プーチンはウクライナに侵攻した。こんな前世紀的な侵略戦争がヨーロッパで始まったことに衝撃を受けた。

プーチンが「核」をほのめかせば、「我々も」と反応する政治家にも愕然とした。ここでそれを言うのはプーチンの思想の肯定だ。

他方、リアルタイムで伝わるウクライナの人々の姿に、彼らを支える各国国民の姿に、歴史は単に逆戻りしたわけではないと勇気と信念を与えられる。

3月、太宰府市議会、そして県内の多くの議会が、ロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議を決議した。

5月16日は「平和に共存する国際デー」だ。国連の説明をかいつまんで紹介する。

この日は、互いを受け入れ思いやり、和解を促進することを世界に呼びかけます。「平和」は、単に対立が存在しないというだけのもではありません。理解と協調、対話を通じて対立を解決するダイナミックな参加型プロセスを必要とするのです。

今もなお世界大戦は現実の可能性だと思いが知らされた。しかし、戦争を起こしてはならない。8月15日まで、その思いを新たにする記念と祈念の日が続く。

ウクライナの平和を願う。それはロシアの人々の、そして私たちの平和でもある。

(毅)

議会広報特別委員会

委員長 原田 久美子
委員長 笠利 毅
委員 堀 彰
委員 木村 剛
委員 今泉 文
委員 馬場 子
委員 タコスド